

草上下総運発第 5 号
平成28年11月29日

草津市長 橋 川 渉 様

草津市上下水道事業運営委員会
委 員 長 山 田 淳

草津市下水道事業第8期経営計画の策定について（答申）

平成28年3月18日に本委員会に諮問された標記について、当委員会は、慎重な審議を重ねてまいりました。

草津市の下水道事業は、平成26年度に地方公営企業法を適用し、汚水事業では、下水道普及率は99.6%と高い率となっています。新規投資の完了も近く、今経営計画は、未整備地区の解消とともに、効率的な施設の改築更新の考え方の確立、地方公営企業として安定経営を目指すための方策が必要となる、法適用後最初の重要な経営計画であるという認識のもと審議を行ないました。

審議では、下水道事業の普及のため、未整備地区の解消、農業集落排水地区の公共下水道への接続実施や、下水道施設の老朽化リスク対策としてのアセットマネジメントによる効率的な維持改築の実施。さらに、雨水事業については、都市浸水対策達成率が19.9%と低く、浸水被害の軽減のため、鋭意努力いただきたいことを議論いたしました。

一方、将来見通しとしては、しばらくは人口増加が見込めるものの、いずれ人口減少を迎えると同時に、節水意識の浸透により下水道使用料収入の増加も見込めなく、また企業債償還金も現在高い水準にあり、厳しい経営状況にあることを確認しました。

このような中ではありますが、地方公営企業の原則である独立採算の考えに基づき、一般会計で持つべき経費については一般会計で負担いただき、分流式下水道に関する経費については、一般会計からの借入金に変更した上で、汚水処理にかかる経費については、中長期的な経営視点により下水道使用料で賄う計画とし、現行の下水道料金を維持したものとしております。

市長におかれましては、本計画にお示したように、下水道事業の推進のための円滑な事業運営と、効率的で安定した経営に努力いただき、将来にわたり安定して下水道を利用できることを要望し、「草津市下水道事業第8期経営計画」をもって答申といたします。

草津市下水道事業第8期経営計画の経過

平成28年 3月18日 下水道事業第8期経営計画諮問

- ・ 経営計画の策定に向けて
- ・ 現状について

平成28年 6月10日

- ・ 汚水量予測について
- ・ 事業計画について

平成28年 7月29日

- ・ 事業計画について
- ・ 財政シミュレーション
- ・ 健全経営に向けて

平成28年10月19日 下水道事業第8期経営計画策定について

平成28年11月29日 下水道事業第8期経営計画答申